

沖縄地方の天候

2024 年（令和 6 年）

令和 7 年 1 月 15 日 沖縄気象台
令和 7 年 3 月 21 日 更新

2024 年（令和 6 年）の沖縄地方の天候

天候の特徴	1
1 2024 年の気温・降水量・日照時間	2
2 天候の経過	3
3 梅雨	15
4 台風	17

【参考資料】

1 2024 年の沖縄地方における旬平均気温 ・旬降水量・旬間日照時間の推移	22
2 統計開始からの記録更新表	23
3 生物季節観測表	30

※本報告は令和 7 年 1 月 15 日時点の資料で作成したものです。

【更新箇所】

- ・速報値から確定値に更新しました。(17・18 ページ)
- ・確定値に伴い、台風第 14 号及び台風第 21 号の説明を更新しました。(20・21 ページ)
- ・「南大東」と「南大東島」が混在していたため、「南大東島」へと記述を統一しました。(19～21 ページ)

本件担当：沖縄気象台 地域防災推進課
お問い合わせ先：098-917-7921

2024年（令和6年）の沖縄地方の天候

天候の特徴

- ほぼ年間を通じて暖かい空気に覆われて気温の高い状態が続いたため、沖縄地方の平均気温は、4月、7月、9月、夏（6月～8月）、秋（9月～11月）及び年で統計を開始した1946年以降で最も高い値を更新した（夏は1位タイ）。年平均気温の地域平均平年差は+1.0℃でかなり高く、県内25の観測地点のうち、20地点で年平均気温の極値を更新した。また、那覇、久米島、西表島で猛暑日の年間日数が各々の統計開始以降、最も多かった（那覇は1位タイ）。
- 沖縄地方の年降水量の地域平均平年比は127%でかなり多く、統計を開始した1946年以降5番目に多かった。また、安次嶺、東では年降水量の多い方からの極値を更新した。なお、沖縄本島地方では2023年9月から少雨の状態が続き、2023年9月から3月中旬までの降水量は平年の5～6割となる所が多かった。
- 沖縄地方の梅雨入りは5月21日ごろ（平年は5月10日ごろ）でかなり遅く、梅雨明けは6月20日ごろ（平年は6月21日ごろ）で早かった。梅雨の時期（5月～6月）の降水量の地域平均平年比は187%でかなり多かった。また、那覇で1238.5ミリ、久米島で1235.0ミリを観測し、梅雨の時期の降水量の多い方からの極値を更新した。
- 台風の年間発生数は26個（速報値）で平年並だった（平年は25.1個）。沖縄県への台風の年間接近数は8個（速報値）だった（平年は7.7個）。

1 2024 年の気温・降水量・日照時間

沖縄地方の年平均気温の地域平均平年差は+1.0℃でかなり高く、年降水量の地域平均平年比は 127%でかなり多く、年間日照時間の地域平均平年比は 102%で平年並だった。

表 1 2024 年の平均気温、降水量及び日照時間

	気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	24.4	+1.1	++	3069.0	142	++	1757.5	102	0
名護	23.8	+1.0	++	3022.0	143	++	1732.2	100	0
久米島	24.3	+1.1	++	2816.0	126	+	1791.9	104	+
南大東島	24.6	+1.1	++	1637.0	100	0	2230.4	105	+
宮古島	24.9	+1.1	++	2635.0	127	+	1777.9	102	0
石垣島	25.5	+1.0	++	2318.0	111	+	1916.5	103	0
西表島	24.9	+1.0	++	2650.0	118	+	1777.7	103	0
与那国島	24.9	+0.9	++	2823.0	122	+	1608.1	103	0
沖縄地方		+1.0	++		127	++		102	0

(注) 平年値の統計期間は 1991～2020 年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めている。また、値が 1991～2020 年の下位または上位 10% (3 位まで) に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

〔なお、沖縄地方の平均気温、降水量等の気象要素の地域平均平年差(比)は、那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島における平均気温、降水量等の気象要素の平年差(比)を 7 地点平均することにより算出している。〕

年内での旬推移のグラフについては、「【参考資料】2024 年の沖縄地方における旬平均気温・旬降水量・旬間日照時間の推移」を参照ください。

2 天候の経過

(1) 1月

沖縄地方は、月の前半は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、後半を中心に、気圧の谷や前線及び大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所もあった。

沖縄地方の平均気温は、暖かい空気に覆われてかなり高い日がある一方、寒気の影響でかなり低い日もあるなど、期間の後半を中心に気温の変動が大きかった。地域平均平年差は+0.4℃で平年並だった。沖縄地方の降水量は、低気圧や前線の影響を受けにくかったため、地域平均平年比は46%でかなり少なかった。渡嘉敷と仲筋では1月の月降水量の少ない方からの極値となった。沖縄地方の日照時間は、冬型の気圧配置が長続きせず、晴れた日が多かったため、地域平均平年比は142%でかなり多かった。

表2 1月の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	17.9	+0.6	+	43.0	42	-	124.9	134	+
名護	17.0	+0.5	+	27.0	28	--	118.9	126	+
久米島	17.5	+0.5	0	63.5	46	-	103.1	137	+
南大東島	18.3	+0.3	0	66.5	86	0	168.7	139	++
宮古島	18.7	+0.4	0	64.5	46	-	124.5	146	++
石垣島	19.2	+0.3	0	47.5	35	--	127.0	150	++
西表島	18.7	+0.2	0	79.0	48	-	105.2	147	++
与那国島	18.8	+0.3	0	149.0	80	0	83.1	157	++
沖縄地方		+0.4	0		46	--		142	++

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(2) 2月

沖縄地方は、気圧の谷や前線及び湿った空気の影響で曇りや雨の日もあったが、中旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

沖縄地方の平均気温は、寒気の影響で平年を下回る日もあったが、中旬を中心に暖かい空気に覆われた日が多かったことから、地域平均平年差は+1.9℃でかなり高く、2月として高い方からの3位だった。また、名護や南大東島など複数の地点で2月の月平均気温の高い方からの極値となった。沖縄地方の降水量の地域平均平年比は53%とかなり少なく、沖縄地方の日照時間の地域平均平年比は148%でかなり多かった。南大東島では2月の月間日照時間の多い方からの極値となった。

表3 2月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	19.8	+2.3	++	49.0	43	-	128.7	138	+
名 護	19.3	+2.5	++	52.5	48	-	120.8	132	+
久米島	19.5	+2.2	++	120.0	85	0	103.1	129	+
南大東島	20.4	+2.3	++	34.0	43	-	185.1	154	++
宮古島	20.2	+1.6	++	82.0	68	-	137.1	152	++
石垣島	20.9	+1.5	+	56.0	45	-	145.1	159	++
西表島	20.4	+1.4	+	44.0	30	--	128.5	155	++
与那国島	20.5	+1.5	+	81.0	50	--	103.9	172	++
沖縄地方		+1.9	++		53	--		148	++

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++: かなり高い(かなり多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、-: 低い(少ない)、--: かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(3) 3月

沖縄地方は、期間の中頃を中心に高気圧に覆われやすかったため、晴れた日が多かったが、上旬と期間の終わりは、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気のほか、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった所もあった。

沖縄地方の平均気温は、期間の中頃まで寒気の影響で平年を下回った日が多かったが、その後は南からの暖かい空気の流れ込みで平年を大きく上回る日もあり、地域平均平年差は+0.3℃と平年並だった。沖縄地方の降水量は、石垣島地方では前線や湿った空気の影響を受けにくかったため、平年の半分程度だったが、前線や南からの湿った空気の影響を受けやすかった沖縄本島地方を中心に大雨となった所もあり、地域平均平年比は90%と平年並だった。宮城島では月降水量の多い方からの3月の極値を更新した。沖縄地方の日照時間は、上旬は少なかったが、その後は平年並か多く、地域平均平年比は109%と平年並だった。

表4 3月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	19.5	+0.4	0	194.0	136	+	113.2	98	0
名護	18.9	+0.4	0	211.5	150	+	125.3	111	0
久米島	19.5	+0.5	0	161.0	82	0	120.2	112	+
南大東島	20.2	+0.7	+	72.5	86	0	177.0	115	+
宮古島	20.4	+0.3	0	106.5	77	0	116.3	100	0
石垣島	21.1	+0.2	0	67.5	50	-	124.4	105	0
西表島	20.7	+0.5	0	77.0	52	-	128.3	120	+
与那国島	20.5	0.0	0	140.5	86	0	103.9	118	+
沖縄地方		+0.3	0		90	0		109	0

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(4) 4月

沖縄地方は、中旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、上旬と下旬は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった所もあった。

沖縄地方の平均気温は、南からの暖かく湿った空気が流れ込みやすかったためかなり高く、地域平均平年差で+2.7℃と、1946年の統計開始以降で4月として1位の高温となった。また、25地点中20地点で統計開始以降、月平均気温の高い方からの4月として1位の高温となった。沖縄地方の降水量は、与那国島では平年の半分だったが、沖縄本島地方、大東島地方、宮古島地方の地点でかなり多く、地域平均平年比で194%とかなり多かった。特に、東、北原、下地島など複数の地点で4月として統計開始以降、月降水量の多い方からの1位を更新した。沖縄地方の日照時間は、地域平均平年比で109%となり平年並となった。

表5 4月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	23.9	+2.4	++	470.5	292	++	120.2)	99	0
名護	23.5	+2.6	++	346.5	215	++	108.6	90	-
久米島	23.9	+2.4	++	502.0	255	++	108.4	92	0
南大東島	23.7	+2.1	++	258.0	227	++	129.4	85	-
宮古島	25.2	+2.7	++	446.5	300	++	142.0	116	+
石垣島	26.3	+2.9	++	206.5	141	+	161.3	124	+
西表島	25.9)	+3.1	++	165.5)	105	0	141.6)	114	0
与那国島	25.8	+2.8	++	76.0	50	-	132.6	127	+
沖縄地方		+2.7	++		194	++		109	0

(注) 平年値の統計期間は1991~2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++: かなり高い(かなり多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、-: 低い(少ない)、--: かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991~2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991~2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(5) 5月

沖縄地方では、上・中旬は天気は数日の周期で変わったが、下旬は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、記録的な大雨となった所もあった。

沖縄地方の降水量は、地域平均平年比で190%と多く、特に宮古島では平年の3倍を大きく上回った。沖縄地方の日照時間は、上旬は多かったが下旬はかなり少なく、地域平均平年比で90%と平年並だった。沖縄地方の平均気温は、中旬は寒気の影響で平年を下回った所が多かったが、上・下旬を中心に暖かい空気が流れ込みやすかったため、地域平均平年差で+0.5℃と高かった。

なお、沖縄地方は5月21日ごろに梅雨入りしたとみられ、平年より11日遅く、昨年より3日遅かった。

表6 5月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	24.7	+0.5	+	475.0	194	+	138.6	100	0
名護	24.3	+0.5	+	230.5	105	0	131.2	96	0
久米島	24.6	+0.4	+	290.5	112	+	151.8	111	+
南大東島	25.0	+0.9	+	164.0	74	0	174.5	102	0
宮古島	25.7	+0.7	+	767.5	345	++	137.0	92	0
石垣島	26.4	+0.5	+	354.5	186	+	139.3	85	-
西表島	25.8	+0.3	+	374.0	213	+	116.9	71	-
与那国島	25.8	+0.4	+	362.5	175	+	102.9	72	-
沖縄地方		+0.5	+		190	+		90	0

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

”)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(6) 6月

沖縄地方では、中旬まで沖縄本島付近に停滞した梅雨前線や南からの暖かく湿った空気の影響を受けやすかったため曇りや雨の日が多かったが、下旬は太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

沖縄地方の降水量は、地域平均平年比で175%とかなり多く、特に久米島と東では6月として、北原では通年としての月降水量の多い方からの極値を更新した。沖縄地方の日照時間は、地域平均平年比で88%と平年並だった。沖縄地方の平均気温は、上旬は梅雨前線の北側の冷涼な空気に覆われたため平年を下回ったが、その後は暖かい空気に覆われやすかったため高くなり、地域平均平年差で+0.4℃と高かった。

なお、沖縄地方は6月20日ごろに梅雨明けしたとみられ、平年より1日早く、昨年より5日早かった。

表7 6月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	26.9	-0.3	0	763.5	268	++	132.1	83	-
名護	26.4	-0.5	-	711.0	244	++	135.1	89	-
久米島	27.1	-0.1	0	944.5	307	++	136.1	86	-
南大東島	27.2	+0.3	+	160.0	80	0	192.3	88	-
宮古島	28.4	+0.7	+	233.0	120	0	167.3	87	0
石垣島	29.3	+0.9	+	210.5	101	0	189.0	89	0
西表島	29.0	+1.2	++	207.5	111	+	182.5	90	0
与那国島	28.8	+0.9	+	114.5	71	0	164.2	90	0
沖縄地方		+0.4	+		175	++		88	0

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」、の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(7) 7月

沖縄地方では、太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、下旬は台風第3号や湿った空気の影響により、八重山地方を中心に大雨や大荒れとなった。

沖縄地方の平均気温は、地域平均平年差で+1.2℃と7月としては統計を開始した1946年以降で最も高く、これまでの1位だった2016年の+0.8℃を大きく超える記録更新となった。なお、那覇、久米島、宮古島、石垣島など多くの地点で月平均気温の高い方からの通年の極値を更新したほか、県内のほとんどの地点では月平均気温の高い方からの7月としての極値を更新した。沖縄地方の月降水量は、台風第3号が接近した八重山地方では平年の2倍から3倍となり、地域平均平年比で156%と多かった。一方、湿った空気の影響を比較的受けにくかった久米島では、平年の2割未満と少なかった。沖縄地方の日照時間は、中旬にかけて晴れた日が多かったことから、地域平均平年比で113%とかなり多かった。

表8 7月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	30.5	+1.4	++	98.0	52	0	267.1	118	++
名 護	30.1	+1.2	++	177.5	97	0	277.1	118	+
久米島	30.6	+1.6	++	25.5	17	-	300.5	120	++
南大東島	30.1	+1.4	++	132.0	112	+	306.8	110	+
宮古島	30.0	+1.1	++	109.0	72	0	266.9	111	+
石垣島	30.7	+1.1	++	326.5	229	++	288.7	111	+
西表島	30.0	+1.1	++	427.0	332	++	265.8	104	0
与那国島	30.1	+1.2	++	368.0	294	++	283.0	110	+
沖縄地方		+1.2	++		156	+		113	++

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(8) 8月

沖縄地方は、上旬を中心に太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、熱帯低気圧のほか、台風第9号及び第10号の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所もあった。

沖縄地方の平均気温は、暖かい空気に覆われやすかったことに加え、上旬を中心に日射が強かった影響もあり、地域平均平年差で+0.9℃とかなり高く、1946年の統計開始以降8月として2番目の高温となった。沖縄地方の降水量は、地域平均平年比で60%と少なく、特に久米島では平年の2割程度で、那覇と名護では平年の半分以下だった。一方、熱帯低気圧や台風第10号の影響を受けた南大東島では、平年の2倍近くと多かった。沖縄地方の日照時間は、地域平均平年比で103%と平年並だった。

表9 8月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	30.2	+1.2	++	110.0	46	-	223.4	108	0
名 護	30.1	+1.3	++	112.0	42	-	220.0	104	+
久 米 島	30.0	+1.1	++	44.5	23	-	235.4	102	0
南大東島	29.2	+0.6	+	274.0	181	+	222.5	89	-
宮 古 島	29.4	+0.8	++	244.0	95	0	191.6	91	-
石 垣 島	30.0	+0.6	++	220.0	88	0	226.0	97	0
西 表 島	29.2	+0.7	++	209.0	74	0	256.7	117	+
与那国島	29.2	+0.5	+	113.5	53	0	232.1	102	0
沖縄地方		+0.9	++		60	-		103	0

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(9) 9月

沖縄地方は、上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、中旬以降は台風や熱帯低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があった。

沖縄地方の平均気温は、暖かい空気に覆われやすかったため地域平均平年差は+1.2℃とかなり高く、1946年の統計開始以降、9月として最も高かった。なお、県内25観測地点のうち、久米島や宮古島など8地点で月平均気温の高い方からの9月の極値を更新した。沖縄地方の降水量と日照時間は、地域平均平年比97%と平年並だったが、台風や熱帯低気圧などの影響を受けやすかった名護や南大東島、那覇では降水量は多く、日照時間は名護と那覇ではかなり少なかった。

表10 9月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	28.8	+0.9	++	295.5	107	+	147.8	82	--
名 護	28.5	+0.9	++	400.5	168	+	138.9	76	--
久米島	29.0	+1.3	++	167.5	71	0	172.5	87	-
南大東島	28.6	+0.7	+	270.5	161	+	203.3	92	-
宮古島	28.9	+1.3	++	232.0	89	0	180.7	101	0
石垣島	29.7	+1.5	++	196.5	76	0	210.7	111	+
西表島	28.7	+1.1	++	265.5	98	0	208.2	113	+
与那国島	28.8	+1.3	++	198.5	69	0	199.1	110	+
沖縄地方		+1.2	++		97	0		97	0

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(10) 10月

沖縄本島地方と先島諸島では、中旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日もあったが、上旬と下旬は台風周辺の湿った空気や台風などの影響を受けやすかったことから曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所もあった。一方、大東島地方では晴れた日が多かった。

沖縄地方の平均気温は、暖かい空気が流れ込みやすかったため、かなり高かった。なお、宮古島や南大東島など多くの地点で月平均気温の高い方からの10月としての極値を更新した。沖縄地方の降水量はかなり多く、特に与那国島では平年の3倍とかなり多かった。なお、沖縄本島地方と八重山地方の複数の地点で月降水量の多い方からの10月としての極値を更新した。一方、南大東島では、平年の1割未満とかなり少なく、北大東と旧東で月降水量の少ない方からの10月としての極値を更新した。沖縄地方の日照時間は少なく、先島諸島を中心に少なかった。一方、南大東島ではかなり多くなり、月間日照時間の多い方からの10月としての極値を更新した。

表11 10月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	27.6	+2.1	++	338.5	189	+	160.9	99	0
名 護	26.9	+1.9	++	315.0	171	+	160.7	97	0
久米島	27.3	+2.0	++	271.5	178	+	178.8	110	+
南大東島	27.9	+2.0	++	16.5	9	--	238.1	133	++
宮古島	27.5	+2.0	++	224.5	142	+	141.8	93	-
石垣島	27.8	+1.8	++	390.0	185	+	145.3	92	-
西表島	26.9	+1.5	++	427.5	201	+	123.1	88	-
与那国島	26.8	+1.4	++	728.0	305	++	115.3	87	-
沖縄地方		+1.8	++		196	++		95	-

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++: かなり高い(かなり多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、-: 低い(少ない)、--: かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(11) 11月

沖縄地方では、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、台風周辺や高気圧のへりを回る湿った空気、気圧の谷、前線の影響で曇りや雨の日が多く、記録的な大雨や荒れた天気となった所があった。

沖縄地方の降水量は多かった。特に名護では平年の3倍を超えてかなり多く、名護を含む沖縄本島北部の複数の地点で月降水量の多い方からの11月としての極値を更新した。一方、宮古島では少なく、鏡原で月降水量の少ない方からの11月としての極値を更新した。沖縄地方の日照時間は少なかった。沖縄地方の平均気温は、上・中旬を中心に寒気の影響を受けにくく、暖かい空気が流れ込みやすかったため、かなり高かった。複数の地点で月平均気温の高い方からの11月としての極値を更新した。

表12 11月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	23.9)	+1.4	++	208.5)	175	++	94.3)	77	-
名護	23.3	+1.4	++	406.5	341	++	88.6	71	--
久米島	23.7	+1.3	++	159.0	123	+	102.5	95	0
南大東島	24.8	+1.7	++	146.0	121	0	112.4	82	-
宮古島	24.4	+1.3	++	61.0	44	-	87.8	78	-
石垣島	24.5	+0.9	++	129.5	94	0	87.9	76	-
西表島	24.0	+0.9	+	210.5	109	0	66.0	68	-
与那国島	23.8	+0.7	+	272.0	122	0	54.5	63	--
沖縄地方		+1.1	++		144	+		75	-

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++: かなり高い(かなり多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、-: 低い(少ない)、--: かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(12) 12月

沖縄地方では、上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、中・下旬を中心に気圧の谷や大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があった。

沖縄地方の平均気温は、中旬を中心に寒気の影響で平年を下回る日もあったが、地域平均平年差は平年並だった。沖縄地方の降水量は、低気圧の影響を受けにくかったため少なく、那覇では平年の2割程度だった。沖縄地方の日照時間は少なかった。

表13 12月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	18.6	-0.4	0	23.5	21	--	106.3	99	0
名護	17.7	-0.5	-	31.5	29	-	107.0	99	0
久米島	18.4	-0.6	-	66.5	50	-	79.5	88	0
南大東島	19.2	-0.5	0	43.0	34	-	120.3	100	0
宮古島	19.8	-0.2	0	64.5	44	-	84.9	92	0
石垣島	20.1	-0.4	0	113.0	73	0	71.8	80	-
西表島	19.7	-0.3	0	163.5	92	0	54.9	78	-
与那国島	19.7	-0.4	0	219.5	109	0	33.5	57	-
沖縄地方		-0.4	0		60	-		85	-

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

3 梅 雨

- (1) 梅雨入り：5月21日ごろ（平年：5月10日ごろ、2023年：5月18日ごろ）
- (2) 梅雨明け：6月20日ごろ（平年：6月21日ごろ、2023年：6月25日ごろ）
- (3) 特徴

沖縄地方の梅雨入りはかなり遅く、梅雨明けは早かった。

梅雨期間中は、梅雨前線や湿った空気の影響を受けやすかったことから、晴れの日ではなく雨や曇りの日が多くなった。

月別にみると、5月の沖縄地方は、上・中旬の天気は数日の周期で変わったが、梅雨入り後の下旬は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、記録的な大雨となった所もあり、降水量は地域平均平年比で190%と多くなった。特に宮古島の月降水量は平年比345%とかなり多く、5月の月降水量の多い方からの2位となり、21日の日降水量250.0ミリは5月の1位を更新した。

6月の沖縄地方は、中旬まで梅雨前線や前線に吹き込む南からの湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、特に11日から19日にかけては、南西から、この時期としても多くの水蒸気を含んだ湿った空気が流れ込み、沖縄本島地方を中心に500ミリを超える大雨となった。11日は、糸数で197.5ミリを観測するなど100ミリを超える地点が多くあり、また、那覇では14日に日最大1時間降水量94.5ミリを観測し、1924年以来100年ぶりに6月の1位となった。久米島では、17日に月最大24時間降水量286.5ミリを観測して6月の1位を更新した。久米島と東では6月として、北原では通年としての月降水量の多い方からの1位を更新した。

梅雨の時期（5月～6月）の降水量は、梅雨入りがかなり遅かったものの、地域平均平年比は187%でかなり多かった。また、那覇では1238.5ミリ、久米島では1235.0ミリを観測し、統計開始以降、梅雨の時期の降水量の多い方からの1位を更新した。梅雨の時期の日照時間は、全ての観測点で平年を下回り、地域平均平年比は89%だった。

- (4) 極端な降水をもたらした背景

期間中、沖縄地方で梅雨前線が停滞した。その梅雨前線に向かって、南からの多くの水蒸気を含んだ空気が、太平洋高気圧の縁辺を回って継続的に沖縄地方に補給されたとみられる。なお、この梅雨前線の停滞には、沖縄付近で偏西風が南に蛇行したことが影響した可能性が考えられる。

表 14 2024 年の梅雨の時期（5 月～6 月）の降水量

地点	5 月の降水量		6 月の降水量		5 月～6 月（2 か月間）		
	降水量(mm)	平年値(mm)	降水量(mm)	平年値(mm)	降水量(mm)	平年値(mm)	平年比(%)
那 覇	475.0	245.3	763.5	284.4	1238.5	529.7	234
名 護	230.5	220.1	711.0	291.7	941.5	511.8	184
久 米 島	290.5	260.3	944.5	307.4	1235.0	567.7	218
南大東島	164.0	222.0	160.0	199.6	324.0	421.6	77
宮 古 島	767.5	222.3	233.0	194.7	1000.5	417.0	240
石 垣 島	354.5	190.7	210.5	208.2	565.0	398.9	142
西 表 島	374.0	175.6	207.5	186.3	581.5	361.9	161
与那国島	362.5	207.3	114.5	162.3	477.0	369.6	129
沖縄地方							187

表 15 2024 年の梅雨の時期（5 月～6 月）の日降水量 1mm 以上の日数と日照時間

地点	日降水量 1mm 以上の日数		日照時間	
	日数	平年値（日）	時間（h）	平年比（%）
那 覇	29	22.7	270.7	91
名 護	30	24.1	266.3	92
久 米 島	29	23.2	287.9	98
南大東島	25	20.0	366.8	94
宮 古 島	27	20.5	304.3	89
石 垣 島	24	17.6	328.3	87
西 表 島	27	19.8	299.4	81
与那国島	29	21.2	267.1	82
沖縄地方				89

沖縄地方の平年比（地域平均平年比）は、那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の平年比の 7 地点平均である。

4 台 風

(1) 台風発生数と沖縄県への接近数¹

台風の発生数及び沖縄県への接近数を表 16 に示す。台風の発生数は平年並の 26 個（平年 25.1 個）で、沖縄県への年間接近数は 8 個（平年 7.7 個）だった。沖縄県に接近した台風と台風が接近した気象官署等²を表 17 に示す。また、沖縄県に接近した台風の経路図を図 1 に示す。

7 月までの発生数は平年より少ない 4 個（平年値 7.8 個）だったが、8 月以降は平年より多い 22 個（平年値 17.3 個）発生し、年間の発生数は 26 個で平年並となった。7 月までは、春まで続いたエルニーニョ現象の影響で、北西太平洋の熱帯域で積乱雲が発生しにくくなり台風の発生数が少なくなったと考えられるが、8 月以降はエルニーニョ現象の影響が小さくなるとともに、積乱雲が発生しやすい状況に変わり、台風の発生数が多くなったと考えられる。

表 16 2024 年の台風の月間（年間）発生数及び沖縄県への月間（年間）接近数とその平年値

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
台風発生数	0	0	0	0	2	0	2	6	8	3	4	1	26
平年値	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.6	3.7	5.7	5.0	3.5	2.2	1.0	25.1
台風接近数	0	0	0	0	1	0	1	2	3	1	1	0	8
平年値	—	—	—	0.0	0.4	0.6	1.5	2.2	1.9	1.1	0.3	0.0	7.7

発生数・接近数は日本時間（JST）を基準にしている。

計算過程に四捨五入を含むため、月の平年値の合計と年の平年値は一致しない。

また、1 個の台風が複数の月にまたがって接近する場合があるため、1 月～12 月の接近数の合計と年間接近数は一致しない場合がある。

1 月～3 月の月間接近数の平年値にある“—”は、平年値の統計期間（1991 年～2020 年の 30 年間）に接近した台風が 1 個もなかったことを示す。

表 17 沖縄県に接近した台風

月	接近数	沖縄県に接近した台風	台風が接近した気象官署等
5 月	1 個	台風第 1 号	南大東島
7 月	1 個	台風第 3 号	宮古島、石垣島、西表島、与那国島
8 月	2 個	台風第 9 号	那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島
		台風第 10 号	南大東島
9 月	3 個	台風第 13 号	那覇、名護、久米島、南大東島
		台風第 14 号	那覇、名護、久米島、南大東島
		台風第 16 号	南大東島
10 月	1 個	台風第 21 号	西表島、与那国島
11 月	1 個		

¹ 沖縄県に接近した台風とは、台風の中心が那覇、名護、久米島、南大東島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島のいずれかの気象官署等から 300km 以内に入ったものをいう。

² 気象官署等とは、那覇、名護、久米島、南大東島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島の気象台または特別地域気象観測所のことを意味する。

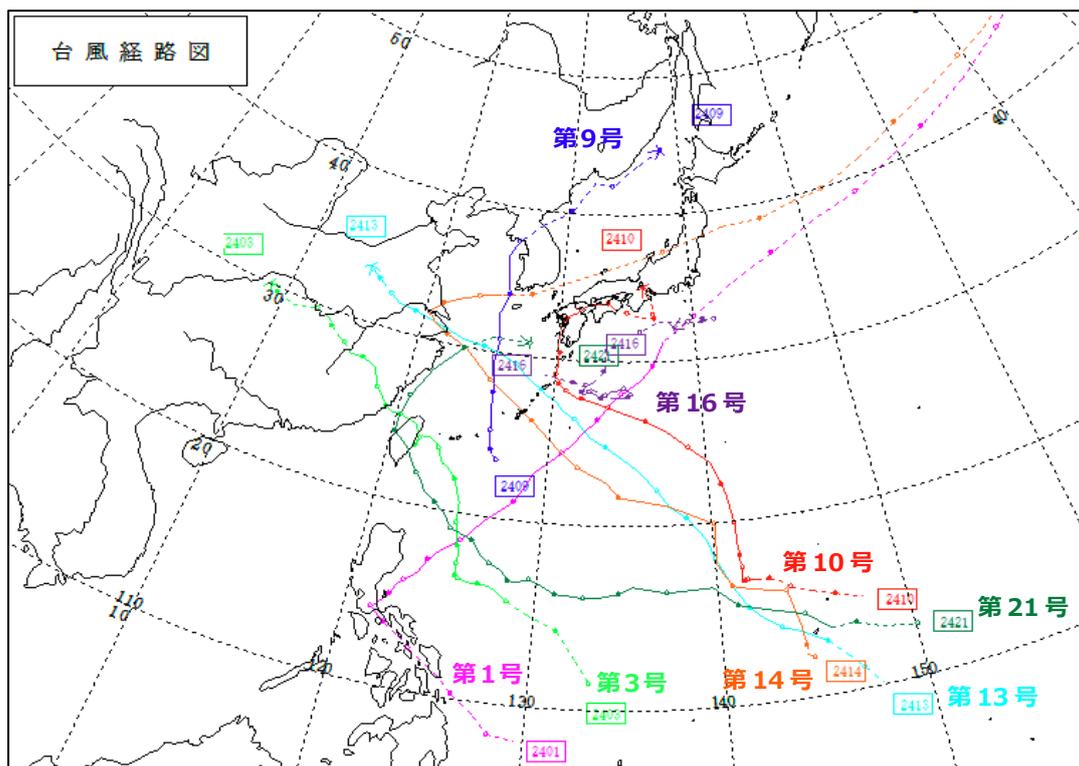


図1 沖縄県に接近した台風の経路図

(2) 気象概況および台風が接近した気象官署等の観測記録（最大風速の上位3位まで）
 表中の期間は、雨の降り始めと降り終わりを日単位で示す。

① 台風第1号

5月25日21時にフィリピンで熱帯低気圧から変わった台風第1号は、発達しながら北西に進み、26日9時に進路を北東に変え、26日21時にはフィリピンの東で中心気圧980hPa、最大風速35m/sの強い勢力となった。その後、29日には南大東島の東海上を北東に進み、31日3時に日本の南で温帯低気圧に変わった。

	南大東島
最低海面気圧	1000.3 hPa
起時	5月29日 13時39分
最大風速	東北東 13.6 m/s
起時	5月29日 12時39分
最大瞬間風速	東北東 22.7 m/s
起時	5月29日 12時39分
期間降水量	11.0 mm
期間	5月29日 0時 ~ 29日 24時

② 台風第3号

7月20日9時にフィリピンの東で熱帯低気圧から変わった台風第3号は、発達しながら北西に進み、24日3時には、沖縄の南で中心気圧950hPa、最大風速45m/sの大型で非常に強い勢力となった。その後も北西に進み、台湾を通過後、27日3時に華中で熱帯低気圧に変わった。

	与那国島	石垣島	西表島
最低海面気圧	967.3 hPa	984.4 hPa	980.7 hPa
起時	7月24日 13時42分	7月24日 10時43分	7月24日 11時18分
最大風速	東南東 34.5 m/s	南南東 24.1 m/s	南南東 16.2 m/s
起時	7月24日 13時59分	7月24日 17時15分	7月24日 16時48分
最大瞬間風速	東南東 50.2 m/s	南南東 35.5 m/s	南東 27.1 m/s
起時	7月24日 13時51分	7月24日 16時19分	7月24日 13時53分
期間降水量	261.5 mm	245.5 mm	330.5 mm
期間	7月23日 0時 ~ 25日 24時	7月23日 0時 ~ 25日 24時	7月23日 0時 ~ 25日 24時

③ 台風第9号

8月18日21時に沖縄の南で熱帯低気圧から変わった台風第9号は、やや発達しながら北上し、19日15時には中心気圧996hPa、最大風速20m/sとなり、沖縄本島の西海上に進んだ。その後、暴風域を伴わないまま、北上し、21日9時に黄海で熱帯低気圧に変わった。

	那覇	久米島	石垣島
最低海面気圧	1004.5 hPa	1002.9 hPa	1003.3 hPa
起時	8月18日 17時11分	8月19日 15時37分	8月19日 03時17分
最大風速	南南東 14.1 m/s	南南東 13.5 m/s	南西 12.8 m/s
起時	8月19日 11時30分	8月19日 14時58分	8月20日 05時22分
最大瞬間風速	南 21.1 m/s	南南東 20.9 m/s	南西 17.8 m/s
起時	8月19日 20時10分	8月19日 14時52分	8月20日 05時17分
期間降水量	15.5 mm	13.5 mm	106.5 mm
期間	8月16日 0時 ~ 20日 24時	8月16日 0時 ~ 20日 24時	8月16日 0時 ~ 20日 24時

④ 台風第 10 号

8月22日3時にマリアナ諸島で熱帯低気圧から変わった台風第10号は、発達しながら北上し、24日9時には中心気圧980hPa、最大風速35m/sの強い勢力となった。その後、25日には進路を北西に変え、27日9時には南大東島の北海上で、中心気圧950hPa、最大風速45m/sの非常に強い勢力となり、21時には進路を北に変え、29日に九州に上陸した。

	南大東島
最低海面気圧	998.1 hPa
起時	8月27日 04時02分
最大風速	南南西 13.7 m/s
起時	8月27日 10時33分
最大瞬間風速	南南西 22.7 m/s
起時	8月27日 10時32分
期間降水量	137.0 mm
期間	8月26日 0時 ~ 28日 24時

⑤ 台風第 13 号

9月10日21時にマリアナ諸島で熱帯低気圧から変わった台風第13号は、発達しながら北西に進み、14日12時には、南大東島の北海上で中心気圧980hPa、最大風速30m/sとなった。その後も、暴風域を伴ったまま北西に進み、17日9時には華中で熱帯低気圧に変わった。

	南大東島	那覇	名護
最低海面気圧	987.9 hPa	995.3 hPa	994.3 hPa
起時	9月14日 07時34分	9月14日 15時54分	9月14日 17時21分
最大風速	北北西 11.6 m/s	南 8.8 m/s	南 8.1 m/s
起時	9月14日 06時46分	9月15日 10時43分	9月15日 11時13分
最大瞬間風速	北北東 19.9 m/s	東北東 14.5 m/s	北北東 13.2 m/s
起時	9月14日 05時32分	9月13日 12時20分	9月13日 10時07分
期間降水量	70.0 mm	39.5 mm	22.5 mm
期間	9月13日 0時 ~ 15日 24時	9月13日 0時 ~ 15日 24時	9月13日 0時 ~ 15日 24時

⑥ 台風第 14 号

9月15日21時にマリアナ諸島で熱帯低気圧から変わった大型の台風第14号は、発達しながら北西に進み、18日9時に中心気圧992hPa、最大風速23m/sで沖縄地方に接近した。その後、暴風域を伴わないまま南大東島の南海上を北西に進み、18日から19日にかけて沖縄本島を通過し、20日には華中に上陸した。その後、進路を北東に変え、21日15時に黄海で温帯低気圧に変わった。

	南大東島	那覇	名護
最低海面気圧	1000.5 hPa	999.4 hPa	998.3 hPa
起時	9月18日 16時01分	9月19日 00時01分	9月18日 23時41分
最大風速	南東 18.4 m/s	東北東 11.7 m/s	北北東 8.8 m/s
起時	9月18日 18時20分	9月18日 11時18分	9月17日 21時54分
最大瞬間風速	南東 31.5 m/s	東 19.4 m/s	北北東 16.2 m/s
起時	9月18日 18時12分	9月18日 11時15分	9月17日 21時46分
期間降水量	13.5 mm	51.0 mm	59.5 mm
期間	9月17日 0時 ~ 19日 24時	9月17日 0時 ~ 19日 24時	9月17日 0時 ~ 19日 24時

⑦ 台風第 16 号

9月24日15時に日本の南で熱帯低気圧から変わった台風第16号は、初め東に進んだが、25日には進路を西に変え、中心気圧998hPa、最大風速18m/sで南大東島に接近した。その後、西に進み、26日15時には南大東島の北海上で熱帯低気圧に変わった。

	南大東島
最低海面気圧	1005.5 hPa
起時	9月26日 15時32分
最大風速	南南西 6.4 m/s
起時	9月26日 15時40分
最大瞬間風速	南南西 9.0 m/s
起時	9月26日 15時51分
期間降水量	1.0 mm
期間	9月26日 0時 ~ 26日 24時

⑧ 台風第 21 号

10月25日3時にマリアナ諸島で熱帯低気圧から変わった大型の台風第21号は、発達しながら西進し、29日3時にはフィリピンの東で中心気圧970hPa、最大風速35m/sの大型で強い勢力となった。その後、進路を北西に変え、29日21時には中心気圧945hPa、最大風速45m/sの大型で非常に強い勢力となり、31日には台湾を通過、台湾海峡を北上した後、11月1日21時に東シナ海で温帯低気圧に変わった。

	西表島	与那国島
最低海面気圧	1000.9 hPa	998.6 hPa
起時	10月31日 05時20分	10月31日 14時47分
最大風速	南南東 15.1 m/s	南東 22.4 m/s
起時	10月31日 15時27分	10月31日 11時58分
最大瞬間風速	南東 24.3 m/s	南東 33.3 m/s
起時	10月31日 15時25分	10月31日 11時48分
期間降水量	110.5 mm	128.5 mm
期間	10月29日 0時 ~ 11月2日 24時	10月29日 0時 ~ 11月2日 24時

参 考 資 料

1 2024年の沖縄地方における旬平均気温・旬降水量・旬間日照時間の推移

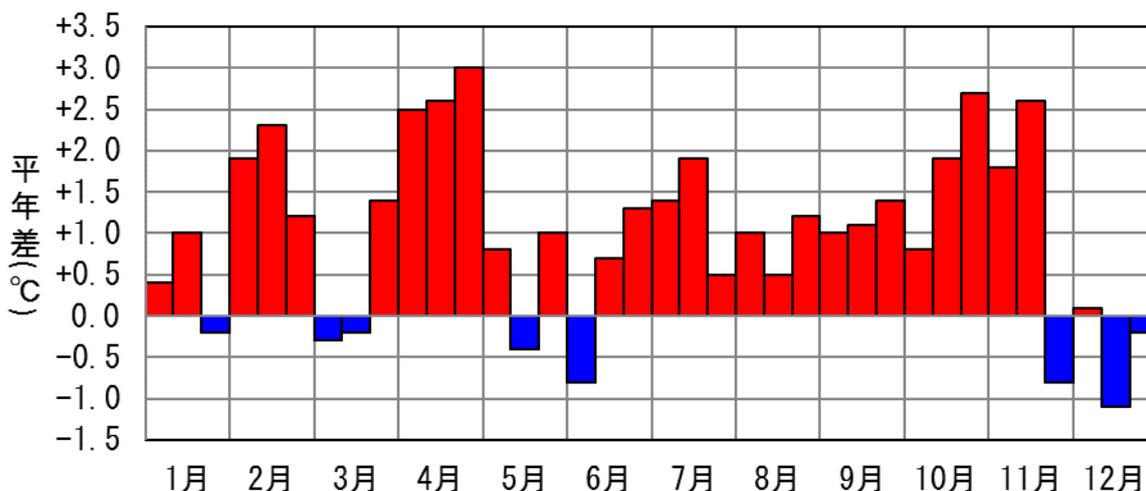


図2 旬平均気温の地域平均平年差の推移

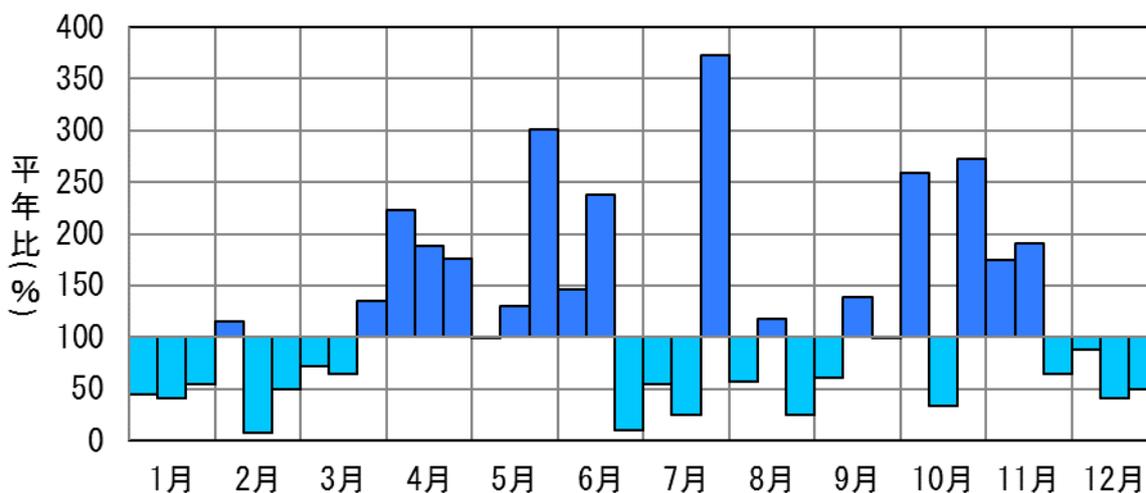


図3 旬降水量の地域平均平年比の推移

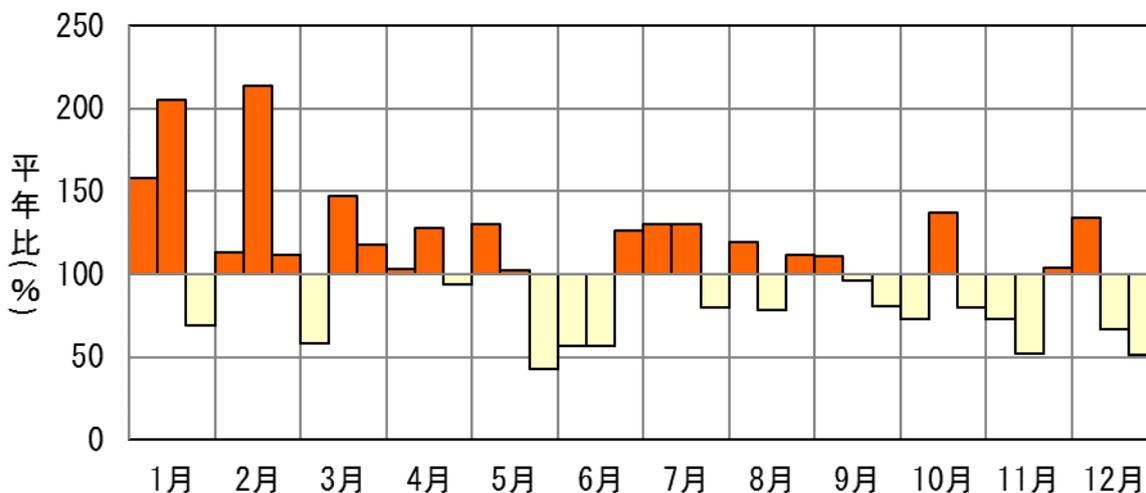


図4 旬間日照時間の地域平均平年比の推移

同一の月にある3本の棒グラフは左から順に上旬、中旬、下旬の地域平均平年差(比)を表している。

2 統計開始からの記録更新表

(那覇・名護・久米島・南大東島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島)

表18 月の統計値に関する統計開始からの記録更新表
(各地点での歴代3位まで、“*”はタイ記録を示す)

月平均気温の高い方から

月	順位	地点名	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	これまでの最高 (°C)	統計開始	平年値 (°C)
2月	1位	南大東島	20.4*	+2.3	20.4 (2019年)	1942年2月	18.1
2月	1位	名護	19.3	+2.5	19.2 (2019年)	1967年2月	16.8
2月	3位	那覇	19.8	+2.3	20.0 (2019年)	1891年2月	17.5
2月	3位	久米島	19.5	+2.2	19.8 (2009年)	1959年2月	17.3
2月	3位	宮古島	20.2*	+1.6	21.3 (2019年)	1938年2月	18.6
4月	1位	名護	23.5	+2.6	23.1 (1998年)	1967年4月	20.9
4月	1位	宮古島	25.2	+2.7	24.5 (1964年)	1938年4月	22.5
4月	1位	石垣島	26.3	+2.9	25.5 (1964年)	1897年4月	23.4
4月	1位	西表島	25.9	+3.1	25.1 (1964年)	1954年4月	22.8
4月	1位	与那国島	25.8	+2.8	25.0 (1964年)	1957年4月	23.0
4月	2位	南大東島	23.7*	+2.1	24.0 (1964年)	1942年4月	21.6
4月	2位	那覇	23.9	+2.4	24.2 (1964年)	1891年4月	21.5
4月	2位	久米島	23.9	+2.4	24.1 (1964年)	1959年4月	21.5
7月	1位	南大東島	30.1	+1.4	29.7 (1991年)	1942年7月	28.7
7月	1位	名護	30.1	+1.2	29.6 (2017年)	1967年7月	28.9
7月	1位	那覇	30.5	+1.4	29.9 (2017年)	1890年7月	29.1
7月	1位	久米島	30.6	+1.6	29.9 (2022年)	1958年7月	29.0
7月	1位	宮古島	30.0	+1.1	29.8 (2022年)	1938年7月	28.9
7月	1位	石垣島	30.7*	+1.1	30.7 (1956年)	1897年7月	29.6
7月	1位	西表島	30.0	+1.1	29.7 (2016年)	1954年7月	28.9
7月	1位	与那国島	30.1*	+1.2	30.1 (2020年)	1957年7月	28.9
8月	2位	名護	30.1	+1.3	30.2 (2017年)	1966年8月	28.8
8月	2位	那覇	30.2	+1.2	30.4 (2017年)	1890年8月	29.0
8月	2位	久米島	30.0	+1.1	30.4 (2017年)	1958年8月	28.9
8月	2位	西表島	29.2*	+0.7	29.6 (2017年)	1954年8月	28.5
9月	1位	久米島	29.0*	+1.3	29.0 (2023年)	1958年9月	27.7
9月	1位	宮古島	28.9*	+1.3	28.9 (2014年)	1938年9月	27.6
9月	2位	石垣島	29.7	+1.5	29.9 (2014年)	1897年9月	28.2
9月	2位	西表島	28.7	+1.1	28.8 (2017年)	1954年9月	27.6
9月	2位	与那国島	28.8*	+1.3	29.0 (2014年)	1957年9月	27.5
9月	3位	那覇	28.8*	+0.9	29.0 (2009年)	1890年9月	27.9
10月	1位	南大東島	27.9	+2.0	27.6 (2016年)	1942年10月	25.9
10月	1位	宮古島	27.5	+2.0	27.2 (2016年)	1937年10月	25.5
10月	2位	名護	26.9	+1.9	27.4 (2016年)	1966年10月	25.0
10月	2位	那覇	27.6	+2.1	27.7 (2016年)	1890年10月	25.5

月平均気温の高い方から つづき

月	順位	地点名	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	これまでの最高 (℃)	統計開始	平年値 (℃)
10月	2位	久米島	27.3	+2.0	27.4 (2016年)	1958年10月	25.3
10月	2位	石垣島	27.8	+1.8	27.9 (2016年)	1897年10月	26.0
10月	2位	与那国島	26.8*	+1.4	27.0 (2016年)	1957年10月	25.4
10月	3位	西表島	26.9	+1.5	27.1 (2016年)	1954年10月	25.4
11月	1位	南大東島	24.8	+1.7	24.7 (2000年)	1942年11月	23.1
11月	1位	名護	23.3*	+1.4	23.3 (2022年)	1966年11月	21.9
11月	1位	那覇	23.9	+1.4	23.8 (2015年)	1890年11月	22.5
11月	1位	久米島	23.7*	+1.3	23.7 (2015年)	1958年11月	22.4
11月	2位	宮古島	24.4	+1.3	24.5 (2015年)	1937年11月	23.1

月降水量の多い方から

月	順位	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	これまでの最大(mm)	統計開始	平年値 (mm)
4月	2位	久米島	502.0	255	544.5 (2000年)	1959年4月	196.8
4月	3位	名護	346.5	215	427.5 (1980年)	1967年4月	160.8
4月	3位	那覇	470.5	292	525.0 (1980年)	1891年4月	161.0
5月	2位	宮古島	767.5	345	815.0 (2022年)	1938年5月	222.3
6月	1位	久米島	944.5	307	710.5 (2021年)	1959年6月	307.4
6月	3位	名護	711.0	244	851.5 (1969年)	1967年6月	291.7
6月	3位	那覇	763.5	268	893.5 (2021年)	1891年6月	284.4
10月	2位	与那国島	728.0	305	1223.0 (1998年)	1957年10月	238.5
11月	1位	名護	406.5	341	362.5 (1971年)	1966年11月	119.2

月降水量の少ない方から

月	順位	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	これまでの最少 (mm)	統計開始	平年値 (mm)
1月	2位	名護	27.0	28	23.0 (2015年)	1967年1月	96.8
2月	2位	西表島	44.0	30	41.5 (2023年)	1954年2月	146.6
10月	3位	南大東島	16.5	9	14.0 (1989年)	1942年10月	180.5

月最大24時間降水量

月	順位	地点名	降水量 (mm)	観測日	これまでの最大 (mm)	統計開始
4月	2位	久米島	206.0	4月15日	252.5 (2012年)	1959年4月
4月	3位	那覇	165.0*	4月15日	166.1 (1939年)	1900年4月
5月	1位	宮古島	309.5	5月20日	226.6 (1956年)	1947年5月
6月	1位	久米島	286.5	6月17日	254.0 (1994年)	1959年6月
7月	3位	西表島	267.0	7月24日	362.5 (2005年)	1957年7月
11月	3位	名護	126.0	11月9日	277.0 (1971年)	1969年11月

月間日照時間の多い方から

月	順位	地点名	日照時間 (時間)	平年比 (%)	これまでの最大 (時間)	統計開始	平年値 (時間)
1月	2位	南大東島	168.7	139	180.3 (1996年)	1947年1月	121.3
2月	1位	南大東島	185.1	154	169.5 (2009年)	1947年2月	120.3
10月	1位	南大東島	238.1	133	237.4 (2019年)	1947年10月	178.4

月間日照時間の少ない方から

月	順位	地点名	日照時間 (時間)	平年比 (%)	これまでの最少 (時間)	統計開始	平年値 (時間)
9月	2位	名護	138.9	76	122.0 (2001年)	1966年9月	183.4
9月	2位	那覇	147.8	82	141.8 (2016年)	1900年9月	181.3

”]”付きの値は、資料不足値（統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている）を意味する。

※月平均気温の低い方からの記録更新は、該当なし

年間の記録

順位	地点名	要素	観測値	観測月	統計開始
1位	那覇	月平均気温の高い方から(°C)	30.5	7月	1890年7月
2位	名護	月平均気温の高い方から(°C)	30.1	8月	1966年8月
1位	久米島	月平均気温の高い方から(°C)	30.6	7月	1958年7月
2位	南大東島	月平均気温の高い方から(°C)	30.1	7月	1942年2月
1位	宮古島	月平均気温の高い方から(°C)	30.0	7月	1937年10月
1位	石垣島	月平均気温の高い方から(°C)	30.7	7月	1896年11月
1位	西表島	月平均気温の高い方から(°C)	30.0	7月	1954年2月
1位	与那国島	月平均気温の高い方から(°C)	30.1	7月	1956年11月
2位	宮古島	月降水量の多い方から(mm)	767.5	5月	1937年10月

表19 日統計値に関する統計開始からの記録更新表
(各地点での歴代1位のみ、“*”はタイ記録を示す)

月別の記録

月	地点名	要素	観測値	観測日	統計開始
2月	南大東島	日最高気温の高い方から(°C)	27.6	2月22日	1942年2月
2月	西表島	日最高気温の高い方から(°C)	28.0	2月22日	1954年2月
2月	久米島	日最大瞬間風速・風向 (m/s)	西南西 27.0	2月5日	1959年2月
4月	西表島	日最高気温の高い方から(°C)	31.2	4月29日	1954年4月
4月	与那国島	日最高気温の高い方から(°C)	31.3	4月29日	1957年4月
4月	宮古島	日最低気温の高い方から(°C)	26.7	4月30日	1938年4月
4月	石垣島	日最低気温の高い方から(°C)	27.6	4月29日	1897年4月
4月	与那国島	日最低気温の高い方から(°C)	26.9	4月29日	1957年4月
5月	宮古島	日降水量 (mm)	250.0	5月21日	1938年5月
6月	久米島	日最大10分間降水量 (mm)	22.5*	6月14日	1959年6月
6月	那覇	日最大1時間降水量 (mm)	94.5	6月14日	1900年6月
6月	石垣島	日最低気温の高い方から(°C)	29.7*	6月30日	1897年6月
6月	西表島	日最低気温の高い方から(°C)	29.5*	6月30日	1954年6月
6月	与那国島	日最低気温の高い方から(°C)	29.8	6月30日	1957年6月
7月	那覇	日最高気温の高い方から(°C)	36.0	7月19日	1890年7月
7月	石垣島	日最高気温の高い方から(°C)	35.5	7月21日	1897年7月
7月	西表島	日最高気温の高い方から(°C)	35.9*	7月20日	1954年7月
7月	那覇	日最小相対湿度 (%)	34	7月15日	1957年7月
7月	西表島	日最小相対湿度 (%)	42	7月16日	1957年7月
7月	南大東島	日最低気温の高い方から(°C)	29.2	7月13日	1942年7月
7月	久米島	日最低気温の高い方から(°C)	29.6	7月12日	1958年7月
7月	宮古島	日最低気温の高い方から(°C)	29.2	7月18日	1938年7月
7月	石垣島	日最低気温の高い方から(°C)	30.4	7月18日	1897年7月
7月	西表島	日最低気温の高い方から(°C)	29.4*	7月12日	1954年7月
7月	与那国島	日最低気温の高い方から(°C)	29.6*	7月12日	1957年7月
8月	久米島	日最高気温の高い方から(°C)	35.3*	8月2日	1958年8月
8月	久米島	日最低気温の高い方から(°C)	29.7*	8月5日	1958年8月
9月	与那国島	日最高気温の高い方から(°C)	34.6	9月5日	1957年9月
9月	西表島	日最大10分間降水量 (mm)	23.0	9月13日	1955年9月
9月	南大東島	日最大1時間降水量 (mm)	62.0	9月30日	1942年9月
9月	宮古島	日最低気温の高い方から(°C)	28.6	9月1日	1938年9月
9月	西表島	日最低気温の高い方から(°C)	28.9	9月17日	1954年9月
10月	久米島	日最高気温の高い方から(°C)	32.5	10月1日	1958年10月
10月	那覇	日最低気温の高い方から(°C)	27.7*	10月31日	1890年10月
10月	久米島	日最低気温の高い方から(°C)	28.1	10月1日	1958年10月
10月	宮古島	日最低気温の高い方から(°C)	28.2	10月1日	1937年10月
11月	南大東島	日最高気温の高い方から(°C)	31.8	11月2日	1942年11月
11月	名護	日最高気温の高い方から(°C)	30.2*	11月1日	1966年11月

月別の記録 つづき

月	地点名	要素	観測値	観測日	統計開始
11月	久米島	日最高気温の高い方から(°C)	30.9	11月1日	1958年11月
11月	宮古島	日最高気温の高い方から(°C)	30.9*	11月1日	1937年11月
11月	南大東島	日最低気温の高い方から(°C)	27.1	11月1日	1942年11月
11月	名護	日最低気温の高い方から(°C)	27.8	11月1日	1966年11月
11月	那覇	日最低気温の高い方から(°C)	25.7	11月2日	1890年11月
11月	久米島	日最低気温の高い方から(°C)	27.8	11月1日	1958年11月
11月	宮古島	日最低気温の高い方から(°C)	27.8	11月1日	1937年11月
11月	石垣島	日最低気温の高い方から(°C)	27.0	11月16日	1896年11月
11月	西表島	日最低気温の高い方から(°C)	25.9	11月15日	1954年11月
11月	与那国島	日最低気温の高い方から(°C)	26.4*	11月15日	1956年11月

※年間の記録

月	地点名	要素	観測値	観測日	統計開始
6月	西表島	日最低気温の高い方から(°C)	29.5*	6月30日	1954年2月
6月	与那国島	日最低気温の高い方から(°C)	29.8	6月30日	1956年11月
7月	那覇	日最高気温の高い方から(°C)	36.0	7月19日	1890年7月
7月	西表島	日最高気温の高い方から(°C)	35.9*	7月20日	1954年2月
7月	石垣島	日最低気温の高い方から(°C)	30.4	7月18日	1896年11月
8月	久米島	日最高気温の高い方から(°C)	35.3*	8月2日	1958年7月
8月	久米島	日最低気温の高い方から(°C)	29.7*	8月5日	1958年7月

表20 年の統計値に関する統計開始からの記録更新表
(各地点での歴代3位まで、“*”はタイ記録を示す)

年平均気温の高い方から

順位	地点名	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	これまでの最高 (°C)	統計開始	平年値 (°C)
1位	名護	23.8*	+1.0	23.8 (1998年)	1966年	22.8
1位	那覇	24.4*	+1.1	24.4 (1998年)	1890年	23.3
1位	久米島	24.3	+1.1	24.2 (1998年)	1958年	23.2
1位	宮古島	24.9	+1.1	24.8 (1998年)	1937年	23.8
1位	石垣島	25.5	+1.0	25.4 (1998年)	1896年	24.5
1位	西表島	24.9	+1.0	24.8 (2016年)	1955年	23.9
1位	与那国島	24.9	+0.9	24.8 (1998年)	1956年	24.0
2位	南大東島	24.6	+1.1	24.7 (1998年)	1942年	23.5

※年平均気温の低い方から、年降水量の多い方から、年降水量の少ない方から、年間日照時間の多い方から、年間日照時間の少ない方からの記録更新は、該当なし

表21 猛暑日、真夏日等の年間日数(各地点での歴代3位まで)および、
継続日数(各地点での歴代1位のみ)の記録更新表
(“*”はタイ記録を示す)

日最高気温30°C以上の日(真夏日)の年間日数

順位	地点名	2024年の 年間日数(日)	これまでの最多 (日)	統計開始	平年値 (日)
2位	南大東島	136	146 (2016年)	1942年	107.4
2位	那覇	124*	137 (2016年)	1890年	102.5
2位	久米島	130	136 (2016年)	1958年	101.5
2位	宮古島	134	136 (2021年)	1937年	101.7
2位	西表島	142	146 (2021年)	1957年	108.3
3位	石垣島	154	162 (2016年)	1896年	121.7
3位	与那国島	132	146 (2021年)	1956年	100.8

日最高気温35°C以上の日(猛暑日)の年間日数

順位	地点名	2024年の 年間日数(日)	これまでの最多 (日)	統計開始	平年値 (日)
1位	那覇	8*	8 (1916年)	1890年	0.2
1位	久米島	4	1 (2017年)	1958年	0
1位	西表島	6	1 (2023年)	1957年	0.1
2位	石垣島	4	6 (1956年)	1896年	0.1
2位	名護	1*	2 (2009年)	1966年	0.1

日最低気温 25℃以上の日の年間日数

順位	地点名	2024年の 年間日数(日)	これまでの最多 (日)	統計開始	平年値 (日)
1位	南大東島	125	123 (1998年)	1942年	88.5
1位	宮古島	161	150 (2016年)	1937年	112.0
1位	石垣島	170*	170 (2016年)	1896年	128.6
2位	那覇	137	148 (2016年)	1890年	107.3
2位	久米島	130	135 (2016年)	1958年	98.2
2位	与那国島	141*	149 (2016年)	1956年	111.9
3位	名護	116*	135 (2016年)	1966年	96.0
3位	西表島	139	147 (2016年)	1957年	106.3

日最高気温 35℃以上の日の継続日数

地点名	継続日数(日)	継続期間	統計開始
久米島	2	8月 5日～8月 6日	1958年
石垣島	4	7月 19日～7月 22日	1896年
西表島	4	7月 19日～7月 22日	1957年

日最低気温 25℃以上の継続日数

地点名	継続日数(日)	継続期間	統計開始
那覇	101	6月 20日～9月 28日	1890年

※日最高気温 30℃以上の日（真夏日）の継続日数(歴代1位)の記録更新は、該当なし

3 生物季節観測表（那覇、南大東島、宮古島、石垣島）

表22 生物季節観測表

観測場所	種別（代替種目）	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日	平年差		
宮古島	サクラ（ヒカンザクラ）	開花	1月5日	1月17日	1月15日	-12	12月30日	2月7日
那覇	サクラ（ヒカンザクラ）	開花	1月13日	1月16日	1月7日	-3	12月28日	2月8日
石垣島	ウメ	開花	1月17日	1月11日	1月21日	+6	12月16日	2月10日
那覇	ウメ	開花	1月19日	1月13日	1月16日	+6	12月22日	2月5日
石垣島	サクラ（ヒカンザクラ）	開花	1月22日	1月18日	2月3日	+4	12月19日	2月20日
宮古島	サクラ（ヒカンザクラ）	満開	2月2日	2月9日	2月3日	-7	1月23日	3月2日
那覇	サクラ（ヒカンザクラ）	満開	2月5日	2月4日	1月30日	+1	1月23日	2月19日
南大東島	サクラ（ヒカンザクラ）	開花	2月16日	1月20日	2月7日	+27	1月4日	2月9日
那覇	ススキ	開花	10月25日	10月16日	10月20日	+9	8月1日	10月29日
南大東島	ススキ	開花	10月28日	10月24日	10月30日	+4	9月18日	11月13日
宮古島	ススキ	開花	10月28日	10月25日	11月1日	+3	10月4日	11月6日
石垣島	ススキ	開花	11月5日	10月6日	10月25日	+30	6月26日	11月5日

平年差の”-”は発現が平年に比べて早く、”+”は発現が平年に比べて遅いことを示す。
 年をまたいで観測した種目については、前年の観測も含んでいる。